



東京医科歯科大学 がん患者さんとご家族のための おしゃべりサロン

サロン便り No.58
(2017年 10月発行)



2017年9月26日に開催された第58回“おしゃべりサロン”の参加者は、体験者20名(男性6名、女性14名)、その他1名(ガイド女性1名)、合計21名でした。初秋のさわやかな気候のなか、多くの方がお集まりになりました。同じがん患者同士、特に同じ部位であれば治療法や悩み事も共通していることが多く、様々な話で盛り上がり、あっという間の2時間でした。



サロンのお約束を確認して始まりました。

- ①自分の事を自分の言葉で話す事
 - ②他の方のお話は、善し悪しを評価しないで最後まで聴く事。
 - ③サロンでのお話は守秘義務を守る事。
- 以上三点です。また個人情報保護のため、SNSへの投稿や録音、写真撮影は禁止です。ご協力をよろしくお願いいたします。



○2年前に胃の全摘手術を受けた。現在、薬は飲んでいない。好きなお酒も少しずつ飲めるようになった。

○5年前、再発で2回目の手術をした。入院期間が月をまたぐとお金は高くつくが、入院してた時は、患者は少なくすいていてよかった。最近は積極的に好きなことをやっている。

○手術で舌と左頸部のリンパ節切除もした。後遺症は想像以上だったが、現在は薬も減って2種類になり、最近調子がいい。普通に暮らせるようになってきた。

○がんの全摘手術をしたら、人間らしい生活はできないかと思っていたが、そんなことはなかった。今では趣味の釣りにも行く。手術してよかったと思う。

○老眼で眼鏡をかけるようになったが、老化現象も生きているからこそだと思ふ。



○サロンではいつも元気になれる。「なんとかなるさ、死ぬこと以外はかすり傷」と思って日々過ごしている。

○大腸がんは多いというが、自分の周りにはいなかった。今日は同じ部位のがんの人と話せてよかった。心強く感じた。

○抗がん剤を休薬している間に生えてきた髪が、薬を再開したらまた抜けた。これも生きているということだ、と思う。

○がん体験者同士がいろいろな話をして、盛り上がり大笑いもした。生きる強さを感じた。

体験や想いを分かち合った内容の、ごく一部ですが紹介させていただきました。次回もスタッフ一同、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

今後の日程

- 日時・場所
毎月第4火曜日 13:30~15:30
東京医科歯科大学医学部附属病院
2017年11月28日(火) } B棟16階 小会議室
2017年12月26日(火) }
(詳細は当日、開催階のエレベーターホールに掲示)
- 対象:主にがん患者さん・ご家族
どちらの医療機関にかかっても参加できます(無料・予約不要)
- 問合せ:東京医科歯科大学医学部附属病院
がん相談支援センター(腫瘍センター内)
電話:03-5803-4008(直通)

主催:特定非営利活動法人がん患者団体支援機構
〒154-0002 東京都世田谷区下馬5-28-7
E-mail: info@canps.jp
URL: http://www.canps.jp

共催:東京医科歯科大学医学部附属病院 腫瘍センター



「のぞみ基金 がん患者団体支援助成金」事業